

祝 100 年。未来へつなぐ。



今月の主な内容

- ◆ **特集 更別小学校開校 100 年** P 2 ~ 3
- ◆ スーパービレッジ構想サービス P 4 ~ 6
- ◆ 犬を飼うときのルール P 8
- ◆ 村のわだい P 12 ~ 13
- ◆ 村からのお知らせ P 14 ~ 15

表紙の風景

2月21日、翌日に更別小学校百周年記念式典を控え、体育館では全校児童による百周年記念ソングの練習が行われていました。練習のあと、表紙の写真撮影に児童会役員の皆さんにご協力いただきました！

特集 更別小学校開校100年

昨年3月に設置された100周年記念看板



令和7年2月22日 百周年記念式典を写真で紹介(会場:更別小学校体育館)



概要
 大正13年5月15日、私立旭教授場として児童数9名で開校した更別小学校は、今年100周年を迎えました。
 令和6年度は記念の年として、年間を通してさまざまな記念事業が実施され、令和7年2月22日には更別村立更別小学校開校百周年記念式典が挙行されました。
 今月号では、更別小学校の概要とあゆみ、式典の様子をご紹介します。

概要
 更別小学校は、大正13年5月15日、私立旭教授場として開校、同年9月6日中札内尋常小学校附属旭特別教授場として認可を受けました。
 2年後の大正15年11月、現在の北更別区会館がある場所に、中札内尋常小学校附属旭特別教授場の新たな校舎が落成し移転しました。

続いて、昭和4年4月17日に旭尋常小学校へ昇格、昭和16年4月に旭国民学校に、昭和19年5月に更別国民学校に改称し、昭和22年4月に更別小学校へ改称され、児童数の増加や校舎の老朽化などから昭和33年12月に校舎が落成しました。
 現在も歌われ続け、親子2代、3代で歌うことができる更別小学校校歌は、昭和39年11月3日に制定されました。
 現校舎は、校舎の老朽化から新たな校舎の建設工事が行われ、昭和57年に第1期工事が完成、昭和58年に第2期工事が

完了。昭和58年12月にPTAの協力のもと引越しを実施し現在に至っています。
 その後、昭和59年に勢雄小学校と更南小学校が更別小学校に統合され、現在の更別小学校となりました。
 児童数は、大正13年に9名で開校し、昭和28年度末には527名とピークに達し、100周年を迎えた令和6年度、全校児童は120名で、卒業生は延べ3659名となりました。
 (更別小学校百周年記念誌より抜粋)

学校長からのひとこと
 更別小学校が、旭教授場として開校されたのは、今から百年前の大正13年5月15日。更別村が開村する24年前のことになります。明治38年から始まる更別村開拓の歴史の中で、苦難の連続だった開墾の傍ら、子どもたちの教育に情熱を注がれた先人のご苦労の歴史の上に、現在があります。
 百年の節目の年を迎え、次の百年に向けて、これからも子どもたちの明るい未来のために、地域の皆様とともに新しい歴史を刻んでまいります。



開校百周年記念ソング

作詞 佐藤 敬貴 (第56代PTA会長)
 作曲 矢島 俊郎 (第24回卒業生)

きれいな花を 咲かすには 愛と水を注ごう
 太陽の日差し 浴びせたら 声かけてあげよう

踏み出した道の その先に 見えるいくつもの光
 それぞれが ときめき感じて 心向くまに
 今日の 歩みが未来を 駆ける力になる
 確かなのは 夢はいつあってもいい 自分を信じて

生まれた街で 暮らす友 遠くで過ごす友
 置かれた場所で 汗をかき 今そこに立っている

忙しく日々を 重ねてきた 涙する日もあったけど
 君達が生まれた瞬間の 思い忘れずに
 家族 仲間といつも 変えあってきたから
 気づいたことは お手本でなくていい そのままで生きて

音走っていた 鉄道は 駅も線路もないけど
 その姿 汽笛鳴らす前は 今も耳に残る
 たとえ大事なものも 失ったとしても
 確かなのは 語り継げばいい 君の胸に残して



100周年記念イベント

6月
花いっぱい運動で2年生が更別農業高等学校生と『100年』の植栽

6月
運動会開会前に『バルーンリリース』

11月
学習発表会で『開校百周年記念ソング』完成報告

更別小学校の活動をご紹介します

- ・JAさらべつ青年部による食育
 - ・更別農業高等学校との花壇整備
 - ・社会福祉協議会による福祉体験
 - ・コミュニティ・スクールによる地域の方のお手伝いや授業実施
 - ・村内事業所の見学
 - ・どんぐり村こども会議への参加
- 地域の皆さんに支えられたさまざまな活動が実施されています。

令和6	平成25	平成21	平成16	平成6	平成2	昭和60	昭和59	昭和59	昭和59	昭和58	昭和58	昭和57	昭和49	昭和40	昭和39	昭和35	昭和34	昭和33	昭和30	昭和27	昭和25	昭和22	昭和22	昭和19	昭和19	昭和16	昭和8	昭和5	昭和4	昭和2	大正15	大正13	大正13
開校100周年記念事業	ユネスコスクール認定	2009サイロ学校賞受賞	開校80周年記念式典	コンピュータ21台設置	体育館東側舗装工事完成	開校60周年記念ブロンズ像除幕式	開校60周年記念式典	更南小学校統合	勢雄小学校統合	旧校舎とのお別れ会	新校舎(現校舎)第2期工事完成	新校舎(現校舎)第1期工事完成	開校50周年記念式典	開校40周年記念式典	新校歌制定(現校歌)	落成祝賀会	校舎(旧校舎)第2期建築工事完成	校舎(旧校舎)第1期建築工事完成	開校30周年記念式典	増築校舎落成	開校25周年記念式典	大正村から分村	更別小学校と改称	開校20周年記念式典	更別国民学校と改称	旭国民学校と改称	開校10周年記念式典	第1回運動会開催	旭尋常小学校に昇格	校舎増築・教員住宅落成	校舎落成式	私立旭教授場開校	中札内尋常小学校附属旭特別教授場認可

ふたつめ

オンライン診療所予約サービス 令和7年度中開始予定

②ログイン ③診療予約など主な機能を確認

②「オンライン診療所予約サービス」へログイン



- ◆ SBIS マイナ手続きポータルでマイナンバーカード（4桁の暗証番号：利用者証明用電子証明書必要）でログイン。
 - ◆ 更別マイナ連携を押し、診療予約・受付画面へ進んでください。
 - ◆ ログインすると、診療の待ち状況をネットで確認できます。
 - ◆ 診療予約を押すと国保診療所の予約ができ、それにより待ち時間を短縮できます。
 - ◆ 国保診療所を受診するときはマイナ保険証での受付が必要です。
- ※夜間、休日は利用できませんのでご理解願います。
※詳しくはお問い合わせください。

③「オンライン診療所予約サービス」の主な機能



※4ページの『健康ポータル』と合わせてご利用になるとさらに便利です。ご利用ください。

問い合わせ先	問い合わせ内容			
	デジタル公民館に関すること	更別ベーシックインフラに関すること	更別村健康ポータルに関すること	オンライン診療所予約サービスに関すること
Social Knowledge Bank合同会社 (ソーシャルナレッジバンク) ☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420	○	○	○	○
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252	○	○	○	○
更別村国民健康保険診療所 ☎ 52-2301 ※夜間、休日は、オンライン診療所予約サービスは利用できません。発熱など急病の方は、受診前にお電話にてお問い合わせください。	—	—	—	○

●このページの問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室
☎ 52-5252

ひゃくワク SARABETSU DIGITAL
トップページはこちらから確認できます
<https://sarabetsu-portal.jp>



デジタル公民館サービス

◆更別村健康ポータルサイト & オンライン診療所予約サービスが始まります

更別村スーパービレッジ構想『更別ベーシックインフラサービス (SBIS)』のデジタル公民館サービスとして、新たに、救急搬送時に傷病者の方の情報を救急隊や医師が確認し処置の判断がしやすくなるサービス『更別村健康ポータルサイト』の運用と、事前に更別村国民健康保険診療所の待ち時間の確認や予約のできるサービス『オンライン診療所予約システム』の運用が始まります。

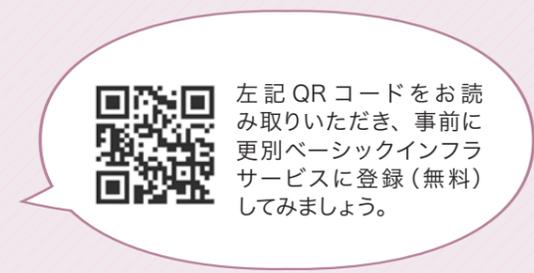
運用開始は、更別村健康ポータルサイトが令和7年3月中から、オンライン診療所予約サービスが令和7年度中の開始を予定しています。どちらのサービスも事前に『更別ベーシックインフラサービス』への会員登録（無料）が必要となり、会員登録は現在もできますのでお知らせします。ご不明な点はお問い合わせください。

はじめに

①更別ベーシックインフラサービスに登録

更別ベーシックインフラサービスへの会員登録は、ひゃくワクDIGITALサイト <https://sarabetsu-portal.jp> のデジタル公民館サービス（無料会員）の利用申込ページから登録画面で手続きすることができます。

すでに会員の方には、ユーザー名とパスワードがご登録のメールアドレスに届いておりますのでご確認ください。



ひとつめ

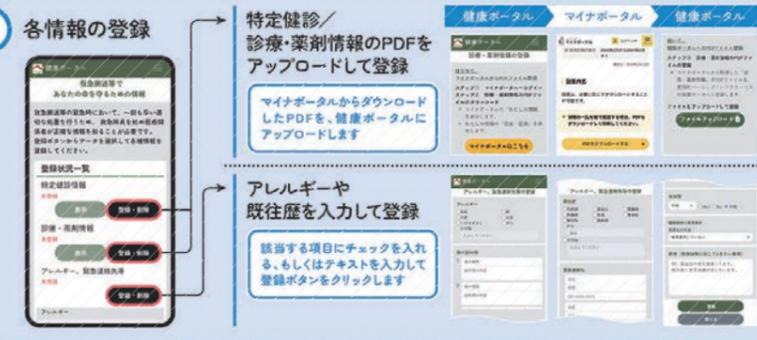
更別村健康ポータルサイト 令和7年3月中開始予定

②ログイン ③診療・薬剤情報など各情報の登録

②「健康ポータルサイト」へログイン



③各情報の登録



- ◆ SBIS マイナ手続きポータルでマイナンバーカード（4桁の暗証番号：利用者証明用電子証明書必要）でログイン。
 - ◆ 更別マイナ連携を押し、健康ポータルサイトへ進んでください。
 - ◆ 特定健診情報や診療・薬剤情報、アレルギー、緊急連絡先の入力ができますので、ご自身の状況を入力ください。
 - ◆ 傷病者が事前に登録した健康ポータルの情報を、救急隊が救急搬送時に、救急搬送サービスで確認することが可能となります。
- ※詳しくはお問い合わせください。

スーパービレッジ構想

100歳までワクワク
世代を超えてみんながつながり合う
豊かな地域 更別村

SBIS

スーパービレッジ構想

100歳までワクワク
世代を超えてみんなつながり合う
幸せな地域 更別村

スーパービレッジ関連実験・取組

◆配送ロボット冬期走行実験第2回目実施

スーパービレッジ構想ではロボット配送の実証実験が令和5年度からの3か年で取り組まれています。2月6日、村内事業所と連携した実証実験が実施されました。この日は大雪の影響もあったことから、御食事処あさひからの出前を役場まで配送する走行実験が行われました。

昨年の実験ではタイヤがノーマルタイヤのため雪でスリップやスタックし配送ロボットが前に進むことができませんでした。今回の実験では、昨年の実験で使用された Hakobase (Hakobot 社製、4輪駆動) に、オフロードタイヤを装備し実施しました。走行実験では、2日前の大雪で積雪があったにもかかわらず、積雪路面をスムーズに自動走行する様子が見られ、出前を無事に役場へ届けることに成功しました。今後も、検証をし取り組む予定です。



自動走行中の配送ロボット



注文した出前の丼ぶりを格納する様子

◆更高生が動画作成に挑戦

更別農業高等学校では、今年度、情報の授業の一環として、情報を整理し相手に伝える題材の研究テーマに「デジタルを活用した地方創生の取組スーパービレッジ構想」を選択。高校生が若者目線での動画作りに取り組んでいます。

1月30日、『スーパービレッジ構想の概要』、『スマホ健康見守り』、『サテライトオフィス』、『自動運転車両』の4つの班に分かれ、サテライトオフィスさらや、自動運転車両、コミュニティナースの撮影を実施しました。

動画は、3月に完成予定で、YouTube や SNS など配信予定です。



動画の撮影順番を確認し、実際に動画を撮影する様子

◆ドローン配送実験を実施

スーパービレッジ構想では、小型無人航空機(ドローン)を使って配送を行うドローン配送の実証実験をしています。人手不足などの解決のため、今回は村内の酪農家の方と JA さらべつ酪農部に協力いただき、検体をドローンで運ぶ実証実験を行いました。

1月30日、協力いただいた牧場の牛舎で検体をドローンへ格納。離着後は、安全性とバッテリーの使用状況などの把握のため、2か所の経由地でバッテリー交換をしたのち、森林組合敷地に無事にドローン配送の到着を確認することができました。今回の実験は、離発着場所、中継地点にオペレーターを配置し、安全性と飛行状況を確認しながら実施されました。



森林組合敷地に到着するドローン

- デジタル公民館サービスに関する問い合わせ
Social Knowledge Bank合同会社
(ソーシャル ナレッジバンク)
☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420

- このページの問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室
☎ 52-5252

letter from Takeshi

村長室 だより

NO.98



多くの意見・要望を村政に!

子どもからお年寄りまで笑顔と笑い声があふれ、一人ひとりが輝く村

令和6年度の行政区懇談会を実施しました

1月10日(金)から30日(木)に今年度の行政区懇談会を農村地区・市街地計15箇所で開催し168名もの多くの住民の皆さんにご参加いただき、村政全般にわたり149項目の貴重なご意見やご要望をお聞かせいただきました。真摯に受け止めた村政に活かして参ります。

◆農林業・有害鳥獣(14件)

農業関係補助事業の情報発信、酪農・畜産農家・カーフセンターへの支援、専門業務を担う職員体制、多面的支払交付金事業の運営、小規模経営の新規就農や新規就農者研修の状況、道営事業、コントラオペレーター確保、村有林、防風林伐採、有害鳥獣駆除対策など。

◆学校・教育(25件)、防災(2件)

中学校移転改修と小中一貫校整備、中学校部活動地域移行、中学生のヘルメット着用、中学校通学路草刈り、グラウンド管理車両更新、更別小駐車場、上更小グラウンド整備、少年団助成金増額・更別学生寮整備、給食センター整備、奨学金返還支援事業、防災訓練実施、メディア防犯

~子どもからお年寄りまで

笑顔と笑い声があふれ、

一人ひとりが輝く村~

◆道路改良・舗装事業・河川(26件)、行政区関連(23件)
町内会・行政区の再編、若手職員の町内会配置、中学校前の横断歩道設置、村道舗装強化の実施計画、防塵舗装の実施状況、道路・交差点の支障木伐採、河川柳の処理、サッチャルベツ川・サラベツ川の維持管理、行政区会館・公共施設のLED化、ゴミステーションの修繕、道々の草刈りと雑木処理、グレーター作業の改善、スクールバス運行路線の変更並びに除雪、カードレールの改修、村道交差点・農道の街灯設置、会館の机・椅子配置・外壁・屋根改修など。

◆スーパービレッジ構想(7件)、福祉・健康・その他(52件)
スマート農業の取組、GPS発信状況の改善、配布物のデジタル化、公金スマホ決済、マイナンバーカード暗証番号の変更、アンドロイド端末の貸出、地域脱炭素事業推進、太陽光パネルの安全性、火葬場の炉の交換、5Gによる健康被害の懸念、地域猫の実態、新型コナフクチンの情報発信、コミナスの活動、公営住宅でのペット飼養、年金特別徴収の通知、地域おこし協力隊(事業承継・起業)事業の内容、高齢者・障がい者世帯のゴミ分別収集支援、障がい者の雇用確保、中高生の居場所(マナカ)、帯状疱疹予防接種補助、診療所玄関開閉改善、発熱外来待合室仕切り改善、診療所待ち時間、今後の国保保険証、外国人の不用品回収訪問、ふるさと納税状況、危険空き家対策、商店街空き店舗対策、乗合タクシー下校時使用、ゴミステーションへの不法投棄、郵便番号見直し、福祉ホームの建設場所と入居対象者など。

コミナス通信 vol.33

コミュニティナースが住民のみなさんと関係づくりを進めています。



毎週木曜日の午後は活動拠点の福祉の里温泉のロビーに滞在!お気軽にご相談ください。

左から いまむ・やや・ゆみ です

2022年から村に移住し、村が掲げる“100歳までワクワク働けてしまう奇跡の農村”を作るべく、高齢者の方々の“楽しい”や“嬉しい”の瞬間をご一緒にしています!コミュニティナース(以下「コミナス」という。)は医療資格に関わらず、暮らしの中で誰もが誰かの元気を応援できるつながりをつくります。

麻雀大会を開催しました

1月26日(日)、第4回目の『麻雀大会』を開催しました。初の日曜日開催ということもあり、過去最高の28人の方にお集まりいただきました。大会は白熱し、「これ以上が上だったらすごいぞ!」「惜しい!」と一喜一憂する声などの卓からも聞こえてきました。30代から90代の幅広い年代の方が集まり、世代を超え、盛り上がりました。



- 問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252

認知症世界の歩き方 in 更別村

2月15日(土)のサンデーズカフェでは、コーヒーと地域の皆さんと作ったガトーショコラをいただきながら、『認知症世界の歩き方』の著者である寛裕介さんの講演と、コミナスとコラボした実践ワークショップを行いました。寛さんには、認知症患者約100人に話を聴き本人の視点でどんな困りごとを抱えているかを認知症の世界を旅する13の物語として本にした話や、ご本人が見ている世界、感じている世界について講演いただきました。ワークショップでは、テーブルごとにカードを使った事例検討を行い、視覚を通じて認知症について考える貴重な機会となりました。



- (株) CNC 更別事業所 ☎ 070-7568-2493

更別村の防災対策をピックアップでお知らせ

村では、災害に備え、防災マップや防災行政無線戸別受信機の各家庭への設置、メール配信サービスを活用した防災行政無線の配信、防災倉庫での物品等の備蓄などを実施しています。下記のほか、詳しくは村ホームページ <https://www.sarabetsu.jp/bosai/> をご確認ください。



防災行政無線戸別受信機の注意事項

防災行政無線の放送時間と注意事項は次のとおりですので、ご確認ください。

◆住宅を建てる時は事前にご相談を！

役場からおおむね 1.5km 以上離れると外部アンテナが必要となる場合があります。

配線工事が必要な場合がありますので、事前にご相談ください。

◆乾電池を入れましょう！

停電時に備え、戸別受信機に乾電池（単一電池2本）を入れましょう。電池切れのときは赤いランプが点滅します。

◆戸別受信機が不調な時は連絡を！

不調が続くときは受信機の設置場所やアンテナの向きの変更、またアンテナを伸ばすなど調整していただき、それでも改善しない場合は、ご自宅へ調査へ伺いますので、総務課へご連絡ください。

	朝	昼	夜
市街地	6:50	12:30	18:15
農村部	6:15	12:30	18:15・19:45

上記のほか、農村部のみ 12:00 にチャイム、18:00 に音楽が流れます。
※臨時放送時は市街地、農村部ともに同じ放送が流れます。

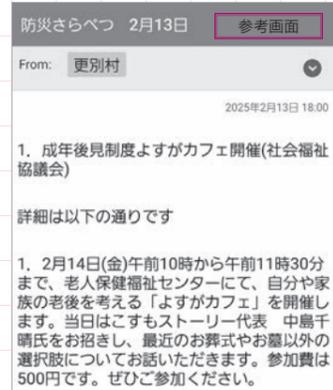
住宅の建設後は、配線が難しく設置ができない住宅も見受けられています。住宅建設前にご相談ください。



(戸別受信機)

防災さらべつメールのご登録を！

防災行政無線の放送内容をご自宅のパソコンや携帯電話で確認できるようメールで配信しています。配信を希望される方は、下記の QR コードから登録をお願いします。なお、防災行政無線の全てが配信されるとは限らず、休日の臨時放送などは配信されないこともありますので、ご了承ください。



PC・スマートフォン用 QR コードです。読み込んでいただき、空メールを送信し、登録手続きへ進んでください。

※受信できない場合は、「@sg-p.jp」ドメインあるいは「sarabetsu@sg-p.jp」からの受信許可設定を確認ください。
※令和7年度中に、メール配信サービスを活用した「防災さらべつ」と「広報」のメール配信および更別村公式 LINE での配信を開始予定です。準備が整いましたら、広報と合わせてお知らせいたします。なお、「広報」のメール配信については4月号で案内予定です。

役場防災倉庫の備蓄品を紹介します

村では、災害に備え、備品を備蓄することができる防災倉庫を職員駐車場横に設置しています。災害が発生したときに避難所設営に必要な、毛布、発電機、照明、防災用トイレ、避難テント、避難ベットなどを保管しています。

防災倉庫備蓄品リスト (一部)	
毛布	80 枚 (10 枚入×8箱)
アルミ毛布	24 枚 (24 枚入×1箱)
アルミマット	50 枚
寝袋	20 袋
LED ヘッドライト	10 個
防災用トイレ (ラップポン)	4 台
発電機	5 台
照明	5 台
ストーブ	30 台
避難ベッド (折りたたみ)	70 台
避難テント	35 張

※防災倉庫のほか、非常食・水は社会福祉センターなどに、毛布・発電機・テント・ストーブの一部を上更別福祉館（第2避難所）に保管しています。

●問い合わせ 総務課庶務係 ☎ 52-2111

犬を飼うときのルール

安らぎを与えてくれる大切なパートナーとして、村では多くの犬が飼われています。しかし、その一方で放し飼いや糞の放置などの苦情・相談が役場に寄せられることがあります。人と犬がともに暮らしていくためには、ルールとマナーを守らなければなりません。飼い主としてのルールについて見直してみましよう。



登録と予防注射を忘れずに！

犬の飼い主は、法律により犬を飼いだした日（生後90日以下の犬を飼いだした場合は、生後90日を経過した日）から30日以内に犬を登録する必要があります。また、登録時に発行する鑑札は首輪などを使って犬に装着してください。

狂犬病の予防注射は、生後91日以上の子犬に毎年必ず受けさせなければなりません。

また、注射を受けた後には注射済票を発行しますので、鑑札と同じく犬に装着してください。

放し飼いは絶対にダメ！

犬の放し飼いは近隣住民など多くの人へ迷惑をかける行為です。犬は必ずつないでおくか、檻の中や室内で飼ってください。

後始末は飼い主が責任を持って！

散歩のときは必ずリードなどをつなぎ、逃げ出したり周りの人に危害を加えたりしないように管理しましょう。

また、糞をしたときは必ず持ち帰り、燃やせるごみとして適切に処理をしましょう。トイレに流すと、詰まりや下水処理施設の故障の原因となってしまうため、流さないでください。

迷い犬や野犬は連絡を！

人や家畜などに危害を加える可能性がありますが、飼っている犬がいなくなったときや迷い犬を発見した場合は、住民生活課に連絡をお願いします。

●問い合わせ
住民生活課住民生活係

☎ 52・2112

巡回狂犬病予防注射のお知らせ

①実施日時

4月15日(火)

場所	時間
勢雄区会館	9:20 ~ 9:50
北更別区会館	10:00 ~ 10:40
南更別区会館	10:50 ~ 11:20
更別区会館	11:30 ~ 11:50
十勝農業共済組合更別家畜診療所	13:10 ~ 14:00

4月16日(水)

場所	時間
更南区会館	9:20 ~ 9:40
昭和区会館	9:50 ~ 10:05
更生区会館	10:15 ~ 10:30
上更別南区会館	10:40 ~ 10:55
上更別消防会館	11:05 ~ 11:50
十勝農業共済組合更別家畜診療所	13:10 ~ 14:00

②料金

3,240 円 (注射済票交付手数料含む)
※おつりがないようにご用意ください。

③狂犬病予防注射済証

犬の登録をしている皆さんへ3月下旬に注射済証を送付します。予防注射の実施日や番号の記載をしますので、当日忘れずに持参してください。

※会場の混雑を避けるため、注射済証を持参いただいた方から順に受付します。

※注射済証を紛失した場合は再発行しますので、4月14日(月)までに住民生活課へお越しください。

④その他

- ◆犬も注射を受けるときは緊張します。逃げ出さないように必ずリードなどを付けてきてください。
- ◆会場の混雑を避けるため、新規登録や登録事項の変更手続きは事前に住民生活課にて済ませるようご協力をお願いします。

昨年度と場所と時間に変更となっておりますので、ご注意ください。

更別村いのちを支えるまちづくり計画 (更別村自殺対策計画) について

村では、令和6年3月に第3次どんどん元気さらべつ（更別村健康増進計画）を策定し、計画に基づき各種健康に係る事業を実施しています。また、この計画のなかには「誰も自殺に追い込まれることのない更別村」の実現を目指し、更別村いのちを支えるまちづくり計画（更別村自殺対策計画）が含まれています。

国では、自殺者が最も多い3月を『自殺対策強化月間』としております。今月号では、更別村いのちを支えるまちづくり計画から、村の現状と取組状況についてお知らせします。

村の現状

平成21年から令和3年までの13年間の村の自殺者は14人となっています。全国および北海道と比べるため、自殺死亡率の5年間平均で見ると、最も高い平成29年の48.1%から令和3年には12.4%まで減少しており、全国および北海道を下回る水準となっています。

～自殺者数・自殺死亡率の推移～

年	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
自殺者数													
更別村	1	2	2	0	1	2	2	2	1	0	1	0	0
北海道	1,439	1,392	1,311	1,206	1,145	1,080	1,045	930	918	905	884	881	903
全国	30,707	29,554	28,896	26,433	26,063	24,417	23,152	21,017	20,465	20,031	19,425	20,243	20,291
自殺死亡率													
更別村	28.9	57.5	58.5	0.0	29.4	59.5	60.0	61.0	30.6	0.0	31.5	0.0	0.0
北海道	26.1	25.4	24.0	22.2	21.2	20.1	19.5	17.5	17.3	17.2	17.0	17.0	17.5
全国	24.4	23.4	22.9	21.0	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7	16.4	16.5
5年間平均	-	-	-	-	34.9	41.0	41.5	42.0	48.1	42.2	36.6	24.6	12.4

性別で見ると、男性が42.9%、女性が57.1%と女性の方が多くなっています。年代別で見ると、50歳代と80歳代が最も多く、30歳代未満はいませんでした。

全国および北海道と比べると、村の自殺死亡率は低い状況ですが、自殺に追い込まれるという危機は「誰にでも起こり得る危機」です。そのような危機に陥らないよう、村ではさまざまな取組を実施しています。

いのちを支える自殺対策の取組

①地域におけるネットワークの強化

自殺の要因には健康・経済問題、家庭や学校、職場での問題などさまざまな要因があるため、地域の関係機関が連携を図っています。

②生きることを支える人材の育成

重要なのは早期の「気づき」です。さまざまな悩みや生活上の困難を抱える人が示すサインに気づき、話を聞いて見守りながら必要な相談、支援機関につなぐ役割を担うゲートキーパーを育成しています。

③住民への啓発と周知

相談窓口の情報提供や定期健康相談日の周知、講演会などにより、自殺を考える人の心情や背景への理解が深まるよう、また、そうした危機に陥った場合には誰かに援助を求めることが適切であることが共通認識となるよう、普及啓発を行なっています。

⑤児童生徒のSOSの出し方に関する教育

「生きることの包括的な支援」として、「困難やストレスに直面した児童・生徒が信頼できる大人に助けの声をあげられる」ことを目標として、SOSの出し方に関する教育を進めています。また、子どもからのSOSに対して周囲の大人が適切に対応できるように、児童生徒が気軽に相談できる体制として、いじめ防止対策やスクールカウンセラーを配置しています。

④生きることの促進要因への支援

自殺に追い込まれる危険性が高まるのは、将来の夢、やりがい、良好な人間関係など「生きることの促進要因」よりも、孤立、失業、いじめなどの「生きることの阻害要因」が上回ったときです。「生きることの促進要因」を増やす取組として、全世代への居場所づくりや自死遺族支援事業の紹介を行なっています。

●問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎53-3000

住宅用火災警報器の点検を！

◆住宅用火災警報器って？

住宅用火災警報器とは、火災発生時の熱や煙を感じし、音や音声で知らせ、「火災の早期発見」や「逃げ遅れ」を防ぐためのものです。住宅用火災警報器を設置している場合の効果は、設置していない場合と比べ死者数は半減し、焼損床面積と損害額も大幅に減少します。

なお、連動型の火災警報器を設置すると、無人の場所でも出火した場合に他の場所の警報器も連動して警報音を鳴らしますので、早期発見に効果的です。

◆点検をしましょう

火災予防運動（春は4月、秋は10月）の時期を目安に、年2回点検をしましょう。点検の方法は簡単です。本体のボタンを押すか、付属の紐を引くだけです。正常な場合は、音声や警報音が鳴ります。



◆設置から10年以上経過の場合は本体交換を！

古くなると電子部品の劣化や電池切れなどにより感知しなくなることがあります。総務省消防庁では、10年を目安に本体の交換をおすすめしています。

ご自身で点検が困難な方、機器更新に伴う高所作業が困難な方、正しい設置位置が不安な方は、更別消防署へお問い合わせください。

●問い合わせ

更別消防署予防1・2係 ☎52・2201

設置から10年以上経過した機器が多くなっているため、定期的な点検と機器の更新を検討しましょう。



ポンプ車 更別2号 更新しました

これまで使用していた更別消防団第2分団のポンプ車「更別2号」が32年振りに更新され、1月29日、新たな車両が納車されました。新たに納車された更別2号は、水槽付消防ポンプ自動車水II型で、乗車定員7名、積載水量は3000リットルです。車両は小型化されましたが、新たに左折巻き込み警報と車線変更警報が搭載され、あらかじめ圧力を設定して放水する自動調圧も可能になりました。



新車両



小川団長・及川副団長と第2分団の皆さん



1/28 北の専門高校 ONE-TEAM プロジェクト 高校生が加工実習

更別農業高等学校では農業の担い手および農業関連産業従事者育成を目指し、農産物の原料生産から加工・販売のフードシステムについて学習しています。この日、かっこう料理店と連携した加工調理実習が行われ、生徒たちは高校で育てた小麦と小豆でどら焼き作りをし、午後は東洋株式会社（帯広市）のマーケティング講座を受講しました。



2/3 美味しい料理で交流 料理体験交流会実施

Stella terra adomani（ステラテラアドマーニ）を会場に、Social Knowledge Bank（ソーシャルナレッジバンク）合同会社主催の『おいしいさらべつに出会える料理体験 EVENT』が開催されました。参加者は早坂敦シェフから野菜の下ごしらえや調理のコツを教えてもらいながら更別産ジャガイモのグラタンなどを作り交流しました。



2/18 高校生がサポートし小麦を学ぶ 中学生がパンづくり体験

ふるさと館では、小麦の学習の一環で更別中央中学校生徒がパン作りを体験。更別農業高等学校農業科生徒がサポートしながら、生地をこね、あんパン、クリームパンを作りました。生地には高校で収穫したスペルト小麦が、あんこには高校の小豆が、カスタードクリームには高校で搾乳した生乳が、それぞれ材料の一部として使用されています。



1/23 ポニーとふれあい 幼保交流実施

今年度5回目となる幼保交流が、さらべつポニーファーム（原山路子代表）で実施されました。幼保交流では次年度小学1年生になる子どもたちが安心して小学校生活を送ることができるよう1年を通してさまざまな交流が行われ、この日の交流では、村内の幼稚園・認定こども園の園児24名が参加し、引き馬体験などで交流しました。



1/29 自主返納臨時窓口初開設 運転免許証返納出張手続き

老人保健福祉センターを会場に、帯広警察署交通第一課による運転免許証自主返納臨時窓口が初めて開設され、3名が手続きをされました。臨時窓口では、運転免許証の返納に合わせ、十勝バスなどが半額で利用できる運転経歴証明書の交付申請受付、村生活安全推進協議会の3,000円分の助成手続きが行われました。



2月1日、更別運動広場村民スケートリンクでは、更別村学校教育推進協議会と更別村スケート協会の主催で『第49回更別村内スケート大会』が開催され小学生や幼児、一般の村民など66名が参加しました。

開会式では更別村スケート協会矢島俊郎会長が「例年になく少雪のため、リンク作りが心配でしたが、皆さんのおかげで素晴らしいリンクができました。このリンクからワールドカップやオリンピックに出た方もいます。先輩たちの後に続いてください」とあいさつ。今回から小学校行事と切り離しての開催となりましたが、小学3年生・幼児・一般の部で大会新記録の更新や、一般の部では全国大会に出場した高校生が滑るなど盛り上がり、観る人を楽しませました。

VILLAGE TOPICS 村のわだい 8 days



2/20 住民の健康を育む地域社会の未来像 まちづくり講演会開催

十勝ふるさと市町村圏南ブロック広域連携促進事業の人材育成事業まちづくり講演会（南十勝夢街道プロジェクト推進協議会主催）が奈良県立医科大学 MBT 研究所副所長梅田智広氏を講師に『医学を基礎とするまちづくり』と題して開催されました。梅田先生は、これまでの研究で予防には日常データのデジタルでの収集と蓄積、それをサポートへつなげることが大切で、本村のスーパービレッジ構想でも取り組まれている、電力センサーを活用した電気量の使用状況から日常生活を分析する取組を紹介しました。



1/24 各組織の現況と取組を確認 村づくり懇談会開催

JAさらべつで村づくり懇談会が開催され、役場、農協、商工会、森林組合、村議会議員など64名が出席。基調講演では株式会社おてつたびの水野皓平さんが『旅のチカラで全国から人材を集めるおてつたびの取組』と題し「コロナ禍を経て働き方が変わりその地域でしか得られないものを求めている人が増えていること」、「おてつたびは地域の人手不足を旅の力で解消する1つの取組」、「地域のファンを作る取組」と話しました。講演後は参加機関が現状と課題を報告、状況を共有しました。

村からのお知らせ

Information from the Village



募集 自衛官の募集のお知らせ

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
幹部候補生 (第1回)	一般 22歳以上26歳未満 (修士課程修了者(見込)は28歳未満) 歯科 20歳以上30歳未満 薬剤科 20歳以上28歳未満 ※詳しくはお問い合わせください。	4月4日(金)まで	1次 4月12日(土) ※飛行要員は4月12日(土)および13日(日) 2次 6月1日(日)～6月7日(土) の指定する1日
予備自衛官補	一般	18歳以上52歳未満	4月6日(日)～4月20日(日)の指定する1日
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する方(資格により年齢上限が変動し、53歳未満～55歳未満) ※詳しくはお問い合わせください。	
一般曹候補生 (第1回)	18歳以上33歳未満(32歳の方は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない方) ※令和8年3月高等学校卒業予定者または中等教育学校卒業予定者は令和7年7月1日以降の受付のみとなります。	5月7日(水)まで	1次 5月17日(土)～5月25日(日)の指定する1日 2次 6月14日(土)～6月29日(日)の指定する1日

📍自衛隊帯広募集案内所
(帯広市西5条南14丁目13 NC サウスビル)
☎️ 23-8718
✉️ obihiro.pco.tokachi@rct.gsdf.mod.go.jp

国民年金

国民年金の任意加入制度について

60歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たしていない場合や40年間の納付済期間がない方は年金を満額受給できません。
年金額の増額を希望される場合は60歳以降でも国民年金に任意加入することができ、ただし、申出のあった月から加入となり遡って加入することはできませんので、

希望される方は申出ください。
●任意加入の条件(①から④の全てを満たす方)
①国内に住所を有する60歳から65歳未満の方
②老齢基礎年金の繰り上げ支給を受けていない方
③20歳から60歳までの保険料納付月数が480月(40年)未満の方
④厚生年金保険、共済組合などに加入していない方
※年金の受給期間を満たしていない65歳以上70歳未満の方も加入できます。
※外国に居住する日本人で65歳未満の方も加入できます。
※保険料の納付方法は、口座

税金

振替が原則となります。
📍帯広年金事務所
☎️ 21-1511
📍役場住民生活課戸籍窓口係
☎️ 52-2112
📍自動車税種別割の住所変更を忘れずに
引っ越しなどで住所が変わったときは、運輸支局で変更手続きをしてください。
📍札幌道税事務所自動車税部
☎️ 011-746-1190

各種アイコンの説明

📣 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 🎯 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

📅 とき 📍 場所 🎯 対象 💰 料金 📋 定員 📄 申し込み 🗨️ 問い合わせ
☎️ 電話番号 📠 ファクス 📧 メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。
※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

お知らせ

自衛官募集対象者の除外申請受付について

村では、自衛隊からの自衛官および自衛官候補生の募集対象者情報の資料提供依頼に対し、住民基本台帳の閲覧により対応していますが、令和4年度から紙媒体による提供を行なっています。
令和7年度の自衛隊募集対象者について、情報提供を望まない場合は、除外申請していただくことにより自衛隊へ提供する情報から削除します。
📍村に住民登録がある日本人住民のうち生年月日が左記に該当する方
・平成19年4月2日から平成20年4月1日まで
・平成15年4月2日から平成16年4月1日まで
●提供する情報
氏名、住所、生年月日、性別
●受付期間
令和7年4月1日から令和7年4月30日まで
📄申請方法
役場窓口での手続きのほか、申請書の郵送またはメールでの申請も可能です。申請書は村ホームページ(<https://www.sarabetsu.jp/kurashi/todokede/eturan/>)からダウンロードできます。

📍住民生活課戸籍窓口係
☎️ 52-2112

石綿関連疾患 労災補償制度について

中皮腫や肺がんなどを発症し、原因が労働者として石綿ばく露作業に従事していたことと認められた場合には、労働者災害補償保険法に基づく各種保険給付や、石綿による健康被害の救済に関する法律に基づく特別遺族給付金が支給されます。
石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。
中皮腫などで亡くなられた方が過去に石綿業務に従事されていた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性があります。最寄りの労働基準監督署または都道府県労働局にご相談ください。
📍北海道労働局労働基準部 労災補償課
☎️ 011-709-2311 (内線3560)

健康・福祉

予防接種の費用助成について

インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の予防接種を村外の医療機関で接種された方に対し、接種費用の一部を助成しています。
📍対象者
・インフルエンザ
生後6か月以上の村民
・新型コロナウイルス感染症
65歳以上の方、60歳～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
💰助成金額
接種にかかった金額から次の自己負担額を除いた金額を助成します。
・インフルエンザ
自己負担額1000円
(上限2000円)
・新型コロナウイルス感染症
自己負担額3000円
(上限1万3000円)
●手続き
申請書は村ホームページからダウンロードもしくは保健福祉課にありますので、領収書、振込口座のわかるも

のを持参し、申請書を保健福祉課へ提出してください。
📄申請期限
3月31日(月)
📍保健福祉課保健推進係
☎️ 53-3000

募集

財務専門官募集のお知らせ

北海道財務局では、財政、金融のプロフェッショナルとして活躍する財務専門官を募集しています。
受験資格などはホームページをご覧ください。
📄インターネット申込期間
3月24日(月)受信有効
<https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
●第1次試験日
5月25日(日)
📍北海道財務局総務部人事課
☎️ 011-709-2311

2025年3月24日変更 パスポートのお知らせです

令和7年3月24日申請受理分より、偽造・変造対策として顔写真ページがプラスチックに変更されます。それに伴い印刷所が国立印刷局へ変更となり、これまで各都道府県で印刷していた方法から、全国の申請を国立印刷局で集中して作成する方法へ変更となります。

申請から発行までにかかる時間が長くなりますので、有効期間が1年未満の方、海外へ渡航予定のある方は、**1か月前までに**パスポートの申請をおこなってください。

なお、3月24日以降は、全ての都道府県でパスポートの新規・更新申請の手続きが、マイナポータルからオンラインでできるようになります。

3月24日からは窓口申請とオンライン申請で手数料が異なります。オンライン申請が安価となります。

【10年用パスポートの手数料(3月24日以降)】
現行 16,000円 → 窓口申請 16,300円
オンライン 15,900円

※5年用パスポートなど、詳しくは、北海道パスポートセンターホームページをご覧ください。



●問い合わせ
北海道パスポートセンター
☎️ 011-219-3388
住民生活課戸籍窓口係
☎️ 52-2112

更別村乗合タクシーをご活用ください

村では令和3年10月1日から更別村乗合タクシーを運行しています。令和6年4月1日からは更別市街地の方も利用可能となり、**村内全域の行き来が可能で、村内のどの場所での乗り降りもご指定いただけます。**年齢制限もありませんので、ぜひご活用ください。詳しくは、村ホームページをご確認いただくかお問い合わせください。



●対象（村民の方）と運賃

区分	料金（1回）	注意事項
未就学	無料	保護者同伴
小学生	100円	保護者同伴が無い場合は、本人または同伴者（兄弟や上級生）が運転手との意思確認および料金支払ができる場合に限りです。
中学生	200円	
一般	300円	

●運行時刻（平日） ※土曜日・日曜日・祝日は運休

運行便	運行方面	運行時間帯
午前	村内全域	8時00分～11時15分
運休	休憩・回送時間	11時15分～12時45分
午後	村内全域	12時45分～16時00分

●利用登録と予約

ご予約の前に、「更別村乗合タクシー利用申込兼個人情報使用同意書」の提出が必要です。ご提出は、**到着時間の45分前までにインターネットまたはお電話で**ご予約ください。

【インターネット予約】

登録時に通知されるIDとパスワードを使用し、インターネットからの予約も可能です。

交通アプリシステム

QRコード



<https://smart-sarabetsu.com/>

- 予約電話
大正交通（有） ☎ 64-5012
- 利用登録・問い合わせ
企画政策課地域開発係 ☎ 52-2114

空き地・空き家バンクをご活用ください

村では、村内の空き地や空き家を登録し利用希望者へ紹介することで、移住や定住、商業活動の促進につながる地域活性化の取組みとして「更別村空き地・空き家バンク」を開設しています。賃貸や売却などを希望する物件を登録し、利用を希望する方に使ってもらう取組みです。移住希望者の方のためにもぜひご活用ください。

🏠 売りたい人・貸したい人

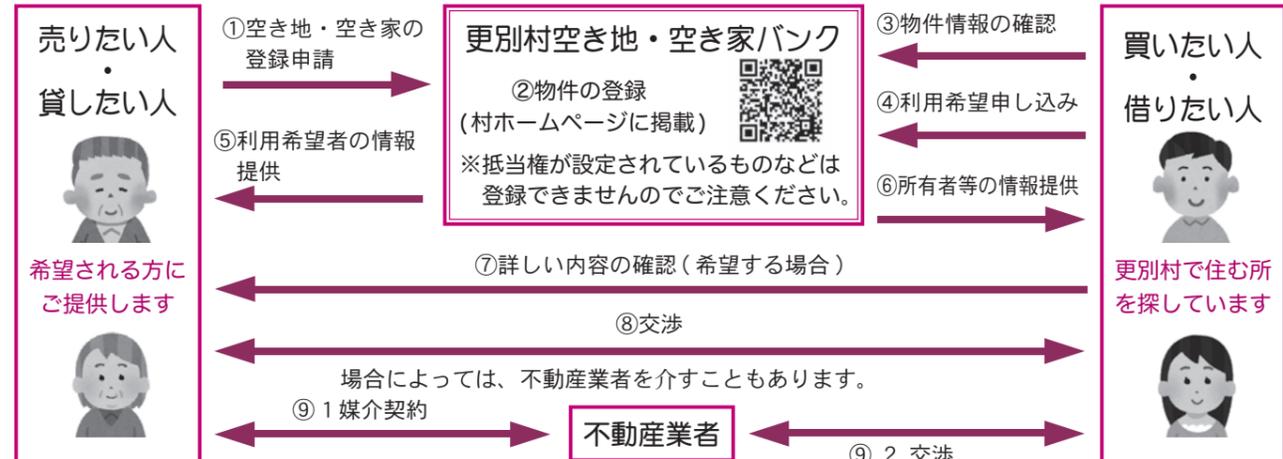
登録申込書、登録カード（写真や図面などを添付）を企画政策課へ提出してください。

内容を確認してバンクに登録後、村ホームページに掲載します。また、利用申し込みを受けた場合、随時登録者へお知らせします。

🏠 買いたい人・借りたい人

村ホームページで登録物件を確認し、希望する物件の利用申込書を企画政策課へ提出ください。

内容を確認し、物件の所有者連絡先などの情報を提供します。



村内での空き地・空き家を求める声が増えています！
ご相談ください。

●問い合わせ 企画政策課地域開発係 ☎ 52-2114

各課・施設の電話／メールアドレス → 保健福祉課 ☎ 53-3000 ✉ hoken@sarabetsu.jp
→ 国民健康保険診療所 ☎ 52-2301 ✉ shinryousyo@sarabetsu.jp

第15回 更別村の教育を考える村民集会 第57回更別村PTA連合会研究会 第45回家庭教育学級生の集い

2月16日、第15回更別村の教育を考える村民集会、第57回更別村PTA連合会研究会、第45回家庭教育学級生の集いが開催され、会場は福祉センターには学校関係者や地域の方など約120名が集まり、子どもたちの教育に関する家庭・学校・地域のあり方について学びました。

村民集会は少年の主張で始まり、斗澤芽依さん（更別中央中学校）が「いじめの基準とは？」、本間莉央さん（同）が「工夫という魔法」で、それぞれの考えや気づき、思いを発表しました。次に、農業クラブ全国大会参加について磯部育恵さん（更別農業高等学校）と増地早佳江さん（同）が発表し、どんぐり村子ども会議のいじめ根絶に向けた児童生徒の取組などについて、更別中央中学校山内聖椰さんと吉田連佑さんが報告しました。



本間さん

斗澤さん

最後に、心のサロンスピーカー代表佐々木祥子さんが「子どもの自己肯定感を高めるおとなの関わり方」をテーマに、「子どもが何に困っているか、その子のありのままを受け止め、寄り添える大人がいることが大切。そのためには大人は心に残らないといけない。時代は変わっています。子育ては母だけ、夫婦だけではなく、社会で子どもを育てる時代です」と講話、参加者は耳を傾けました。



山内さん（左）と吉田さん（右）



更別農業高等学校 左から増地さん、磯部さん、齋藤さん



佐々木さん

どんぐり保育園では、生活とあそび・おはなしあそび発表会が開催され、園児たちが保護者が見守るなか、元気いっぱいにお友だちと絵本の世界を表現。歌ったり、ジャンプや踊り、また縄とびを披露する姿がありました。

2/8 認定こども園どんぐり保育園 生活とあそび・おはなしあそび発表会



各課・施設の電話／メールアドレス → 議会事務局 ☎ 52-2117 ✉ gikai@sarabetsu.jp
→ 農業委員会 ☎ 52-2116 ✉ nougyou@sarabetsu.jp

また、農業クラブの三大会事でもある農業技術競技大会出場のほか、東京での地域みらい留学や札幌でのSDGs研究大会にも参加できました。たくさんの人から刺激をもらいながら知見を広げられ、多面的に考えられる自分になれた気がしています。

この他にも、生徒会役員やトピオン講習会などにも挑戦。教室では得られない知識や経験があることを知るとともに、自己実現の可能性を追求する機会を頂けました。これらの経験は、将来必ず役に立つと思っています。

2年前、同誌に『入学して頑張りたいこと』を書かせてもらっ



更農時代がゴールを迎えます。私の一歩の思いは、特徴のある授業の数々です。食品化学ではナタデココ、食品流通・製造実習ではコーヒー牛乳・パン・うどんなど、さまざまな加工品を作ったことにより、改めて食の大切さを実感できたからです。農業大学に進学し、日本の食の安定に貢献したいと考えている私にとって、たいへん有意義な時間になりました。

会に恵まれ、そのときは「仲間と協力しながら何事にも一生懸命に取り組み、自分らしく高校生活を送りたい」と記しました。

私は宣言どおり、精一杯に前向きに取り組めたと思います。更農に入学して良かったと思える最高の高校生活でした！

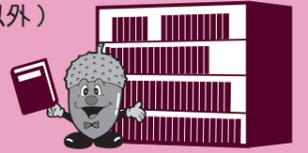
最高の高校生活
農業科3年

更別農業高校ニュース

更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分
休館日 火曜日および祝日(日・月・土以外)
住所 更別村字更別南2線96番地11
農村環境改善センター内
電話 52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー
『新学期お助け本』
- 児童書コーナー
『入園・入学のえほん』
『春のえほん』



今月の読みきかせ

3月15日(土) 11時00分～11時30分

- 『Kitty Cat Restaurant』
(英語で読みきかせをします)
- 『たったひとつのドングリガ』



古本市を実施します

図書室では、図書室前廊下で村民の皆さんに不要となった雑誌や絵本、一般書などを無償で提供する古本市を実施します。ご自由にお持ち帰りいただけます。期間は3月14日(金)～22日(土)まで、無くなり次第終了となります。

更別村観光協会 SNS が新しくなりました

観光協会では SNS を活用し、より多くの皆さんに更別村のイベントや美しい景色、各事業所の取組を知ってもらえるよう取り組んでいます。2月から更別村観光協会の Facebook アカウントと Instagram アカウントが新しくなりましたので、お知らせします。

◆ Facebook (フェイスブック)
アカウント名
『更別村観光協会 sns』



◆ Instagram (インスタグラム)
アカウント名
『@sarabetsumura_kankou』



※上記のほか YouTube もあります。

●問い合わせ
更別村観光協会事務局(ふるさと館内) ☎ 52-2211

総合誌さらべつ 編集委員を募集中

毎年3月に発行している総合誌さらべつは、更別村に住んでいる方、ゆかりのある方が「更別村」という共通のキーワードのもと、日頃の学びの成果や暮らしの中で感じたこと、思い出や創作など、皆さんで作上げる村文化の集大成です。

編集委員になって、もっと身近に更別村を感じてみませんか？

- 任期 4月1日から翌年3月31日まで
- 会議 年5回程度開催
- 業務内容 文章の校正など編集作業
- 経費 編集委員会計で負担
- 対象者 村内在住者
- 応募期限 4月11日(金)



●問い合わせ
教育委員会事務局社会教育係 ☎ 52-3171

新着図書案内



今月のおすすめ本
『一生頭がよくなり続ける
もっとすごい脳の使い方』
加藤 俊徳 / 著者
やりたかったことを最後まで
やりきる力を与えてくれる
脳の使い方が学べる一冊。

えほん

おちば (おーなり由子)	ほしじいたけほしはあたま (石川 基子)	まほろしのごのみ	おばあちゃんの (マフク)	白い鳥 (マタル)	コルテンくん (トク)	ステージにたつ (フリーマン)	どんなごころか (キアラ)	あてごらん? (カルミナーティ)	ここがすごい! (岡田 博元)	ロボット図鑑 (岡田 博元)	たべものれっしや (長谷川 あかり)	ラーメン (山岡 ひかる)	フルーツスイーツ (山岡 ひかる)	のプリンセス (山岡 ひかる)	はたらく中華料理店(吉田 亮人他)	ねこのオールド (キヤスリン)	魔法のじゅうたん (ハイル)
--------------	----------------------	----------	---------------	-----------	-------------	-----------------	---------------	------------------	-----------------	----------------	--------------------	---------------	-------------------	-----------------	-------------------	-----------------	----------------

児童文学・学習書ほか

キャベたまたんでい (三田村 信行)	てんぐ山で七ひしぎ	戦争入門 (長谷川 敦)	13歳から考える (長谷川 敦)	じぎとぎキャンプ (いとう みく)	いぬいへの女王さま (いとう みく)	おまがとぎ (最上 一平)	よつつかいはあちゃんちの (最上 一平)	おまがとぎ
--------------------	-----------	--------------	------------------	-------------------	--------------------	---------------	----------------------	-------

文学・一般書

可及的に (山下 紘加)	すみやかに (山下 紘加)	ダブルマザー (辻堂 ゆめ)	ゆづべのヒミツ (室井 滋)	男女最終戦争 (石田 衣良)	室町ワンダーランド (清水 克行)	終活大全 (福村 雄一)	読書は鼻歌くらいで (大島 梢絵)	ちよつと (大島 梢絵)	勇気論 (内田 樹)	老いほれを (マーガレット)	燃やせ (アトウッド)	ミステリ (斜線堂 有紀)	・トランスミッター (斜線堂 有紀)	ウオッチメイカー (ジエフリー)	の罫 (ディーヴァ)	空海と密教解剖図鑑 (武藤 郁子)	この服で誰かに会いたくない (カミ)	思ったら、その服は寿命 (カミ)	男はなぜ孤独死 (トーマス)	するの (ジョイナー)
--------------	---------------	----------------	----------------	----------------	-------------------	--------------	-------------------	--------------	------------	----------------	-------------	---------------	--------------------	------------------	------------	-------------------	--------------------	------------------	----------------	-------------

戸籍の窓口



地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

54日(2月28日現在)

■地域安全運動のお知らせ

『歩行者、自転車の方も交通安全を心がけよう』

春が近づき、気温も上がり、雪解けも進んでいます。雪解けの状況によっては、歩道が通りにくい場合もあるかと思いますが、車道の中央を通行する様子が見受けられ、大変危険です。

歩行者の方は歩道を、自転車の方は道路の中央から左側部分の左端に寄って通行をお願いします。なお、13歳未満・70歳以上・身体の不自由な方が自転車を運転する場合は、歩道を走行することが認められています。



2/9

行政区対抗バドミントン大会

【グループA】

●優勝 協和区

●2位 新栄町

●3位 旭区A

【グループB】

●優勝 旭区B

●2位 上更別合同

●3位 更別東区

2/2

行政区対抗

フットサル大会

●優勝 更別アンビシャス

●2位 更中OB

●3位 上更別連合

●得点王

横山 稜空さん(更中OB)

SPORTS

2/16

行政区対抗ミニバレー大会

【男性クラス】

●優勝 旭区

●2位 勢雄区A

●3位 更別東区

【混合】

●優勝 曙町

●2位 南更別区A

●3位 南更別区B



2/23

行政区対抗卓球大会

●優勝 若葉町

●2位 旭区

●3位 更別東区

本町

人の動き

2025年2月1日現在

※() 内の数字は前月比



総人口 3,076人 (-8人)



男性 1,512人 (-2人)



女性 1,564人 (-6人)



世帯数 1,362世帯 (±0世帯)

